



鬼高っ子

令和4年度学校だより 7月号②
令和4年7月20日発行
市川市立鬼高小学校 No.5
文責：校長 黒岩大二



学校教育目標 「未来を創る」 ～他者とともに 自分らしく生きる 鬼高っ子～

①思いやりの心を持って ②人間性豊かに ③たくましく ④かがやく未来へ

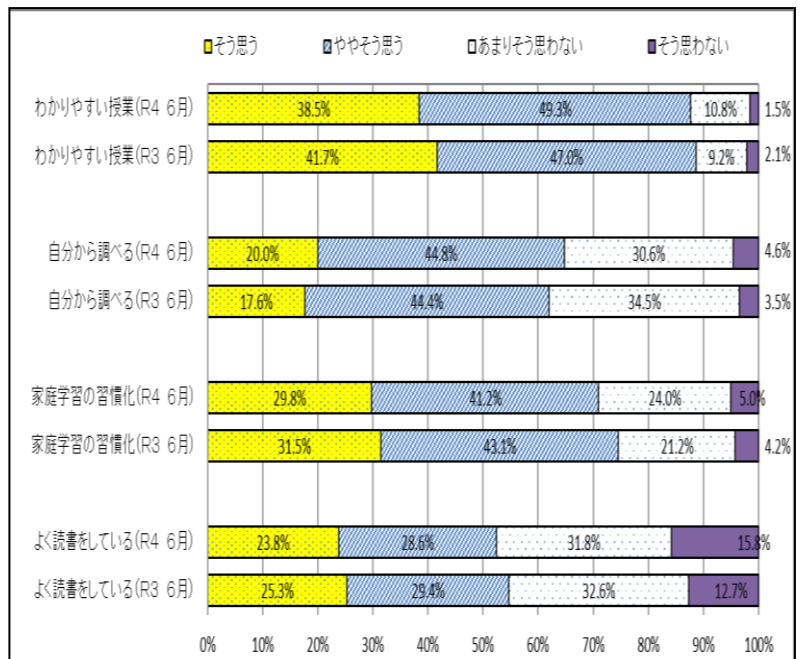


酷暑と梅雨明けの早さに驚かされた1学期末となりましたが、いよいよ子供たちが楽しみにしている夏休みが始まります。新型コロナウイルス感染者数も第7波を迎え、油断はできない状況下ですが、長期で夏ならではの体験をして、リフレッシュして、元気に2学期を迎えてほしいです。

6月にご協力いただいた学校評価アンケート結果についてご報告いたします。まずは、ご多忙な中、昨年を上回る数の皆様にご回答をいただいたこと、本当にありがとうございました。昨年度より肯定的評価が増加した項目と減少した項目が見られました。双方の原因を分析し、2学期からの学校運営に生かしてまいります。職員一同、子供たちが楽しく学校に通い、学べるよう、より一層努力していきたいと思っております。保護者の皆様には、これまで同様ご協力をお願いいたします。

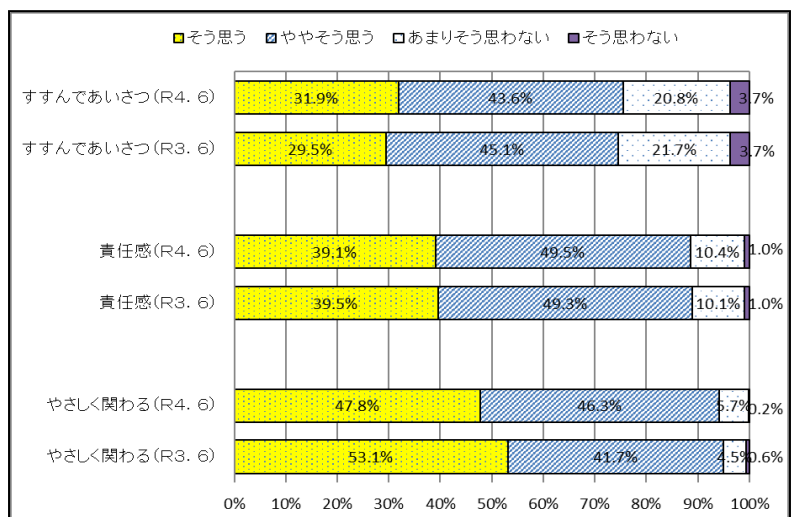
【確かな学力】

- 「わかりやすい授業」については、今後、校内授業研修など、教員同士で授業を見合う機会を増やし、一人一人の授業力向上につなげていく。また、講師の指導・助言を生かした授業改善に取り組み、学校全体の授業力向上を図る。
- 「自分から調べる」の肯定的評価は昨年度より向上した。各学年、生活科・総合的な学習の時間・社会科等における探究活動や、調べ学習におけるタブレットの積極的な活用など、児童が主体的に学ぶ機会を増やしていることが評価につながったと考える。



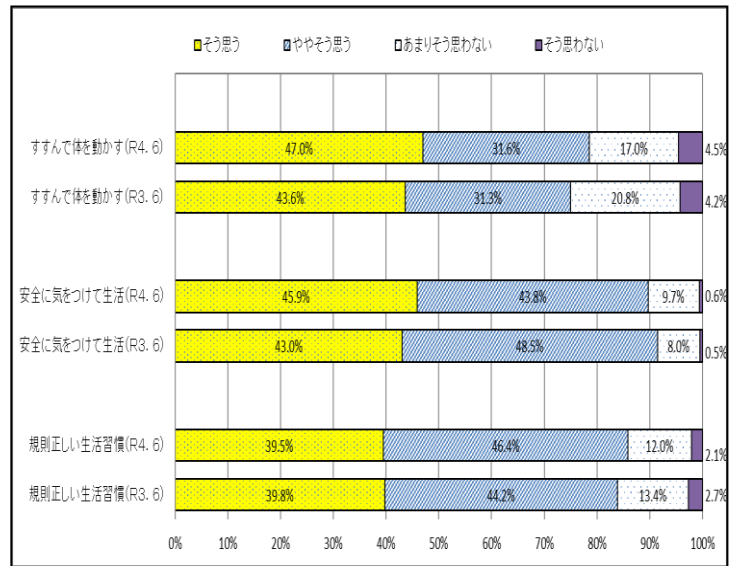
【豊かな心】

- 「責任を持って取り組む」の肯定的な評価は高く、学級での係活動、高学年の委員会活動等を通じて児童一人一人の意識が向上している。
- 「優しくかかわる」の肯定的な評価は、昨年度同様90%を超えている。引き続き、相手を思いやる行動を大いに褒め、助け合い・認め合う気持ちを学校全体で育てていく。



【健やかな体】

- 「すすんで体を動かす」の肯定的な評価は昨年度より向上した。運動会やスポーツテストの実施、施設開放団体（サッカー・野球・バスケットボール等）の活動再開等、コロナ禍における児童の日常的な運動機会が徐々に回復していることも評価に影響を与えていると考える。
- 「安全に気をつけて生活」は、登下校中や休み時間におけるケガが多く、児童の危機回避能力の育成が課題である。
- 「規則正しい生活習慣」については、家庭との連携を進めながら、児童の生活リズム改善を図っていく。



【信頼される学校】

<市内共通>

- 「教育目標説明努力」は、昨年度より肯定的評価が低下した。学校だより、HPの活用と、学校運営協議会やPTA本部との連携を進めながら積極的に情報発信し、保護者に理解を得られるよう努めていく。
- 「特色ある取り組み」については、コロナ禍において行事や地域との交流等が制限される状況ではあるが、ICT機器の活用を図りながら、取り組みを進めていく。

<学校独自項目>

- 「学校生活を楽しく送っている」は、昨年度より肯定的評価が低下した。児童理解と適切な支援、わかる授業づくり等の推進により、更なる向上を図る。

<自由記述>

- 校舎内外の衛生面や安全面に関するご意見を多くいただきました。施設設備に関する事など予算を要するものは教育委員会と相談する必要がありますが、ご意見を参考に、学校でできることを検討し、改善に努めてまいります。
- 運動会の開催方法や水泳授業、調理実習の方法等、コロナ禍になってからの対応がほとんど変わらないというご意見がありました。今後の行事につきましては、感染対策をしっかり行いながら、少しでもできることを増やせるよう対応してまいります。

